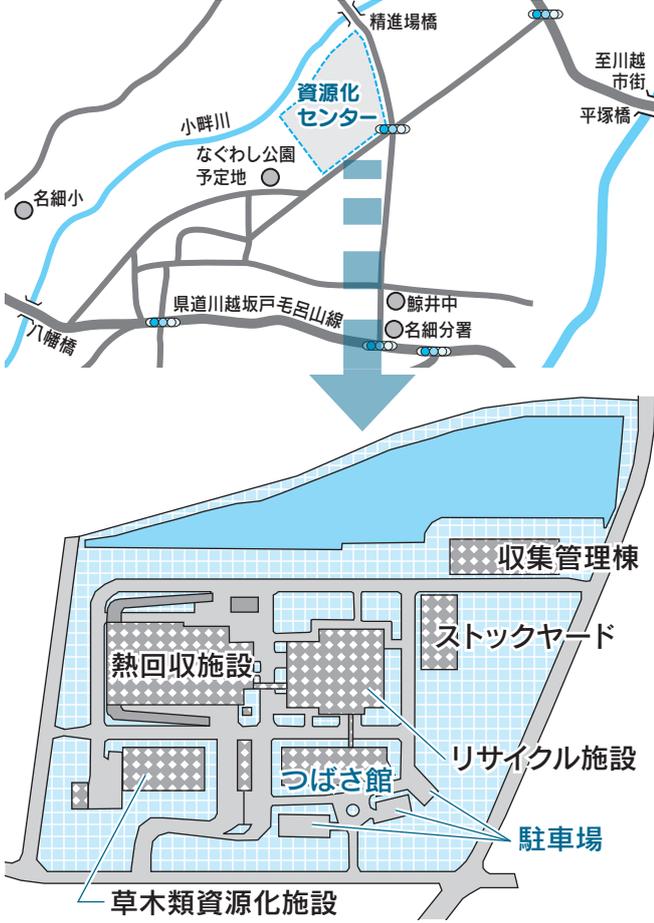


環境プラザ(つばさ館)オープン!

資源化センターが、4月1日(木)から本稼動します。同センターは、廃棄物処理関連の複合的な施設です。可燃ごみを処理する際に発生する熱で発電し、灰も資源化する熱回収施設。不燃ごみ・粗大ごみ・びん・かん・その他プラスチック製容器包装などの処理と資源化を行うリサイクル施設。公園や学校の植木せん定枝などを資源化する草木類資源化施設。収集車両の拠点となる収集管理棟などがあります。

そして同センター内に、環境学習の場となる環境プラザ(つばさ館)が誕生します。ごみの発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)の3Rを推進するため、市民の皆さんや団体などと連携し、3Rの普及啓発・リサイクル体験・情報発信・交流活動の拠点となる施設です。より良い環境を次世代に残すために、つばさ館で環境について学んでみませんか。

資源化センター案内図と配置図



①エコタワー

市内から排出されるごみ(びん・かん・ペットボトル・その他プラスチック製容器包装)を品目別に柱の中に詰め込んだタワーです。市内から排出される1日のごみの量などを表示しています。

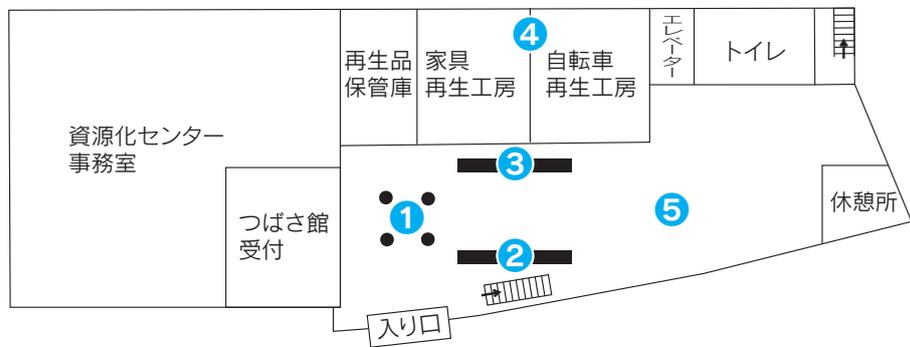
1階

②3R体験コーナー

3Rについて遊びながら学べるコーナー。リデュースストアではマイバッグの実費頒布、リユースクローゼットでは壊れたおもちゃの修理体験やフリーマーケット情報、リサイクルキッチンではごみの分別ゲームなどができます。

③クエストブック

地球環境について学べるコーナー。地球温暖化や酸性雨の仕組み、生物多様性について展示・説明しています。展示物にさまざまな仕掛けがあるので、楽しみながら環境について学べます。



④家具・自転車再生工房

ごみとして出された家具や自転車を修理・再生するコーナー。修理した家具・自転車は、再生品等展示スペースに展示して実費頒布します。外から修理の様子を見学することができます。

⑤再生品等展示スペース

家具・自転車再生工房で修理した再生品を、毎週金曜日(祝日を除く)に実費頒布します。また、資源化センターに持ち込まれた古着なども実費頒布します。



つばさ館受付から見た館内

●資源化センター施設概要

所在地…鯨井782-3

敷地面積…105,000㎡（東京ドーム約2個分）

主な施設と能力(最大値)

熱回収施設＝1日に265 tの可燃ごみを処理

リサイクル施設＝1日に53 tの不燃ごみ・びん・かん・粗大ごみ・
その他プラスチック製容器包装などを処理

草木類資源化施設＝1日に6.1 tのせん定枝・刈り草を処理

つばさ館施設概要

開館時間…午前9時～午後5時

休館日…月曜日、祝・休日、年末年始

*月曜日が祝・休日の場合、その直後の祝・休日以外の日。

駐車場…普通車51台・大型車4台(つばさ館利用者用)



つばさ館の外観(上)と、3階に向かう階段から見た1階の展示(右)



つばさ館屋上の太陽光発電設備。草木類資源化施設と合わせて約167kWの発電容量です

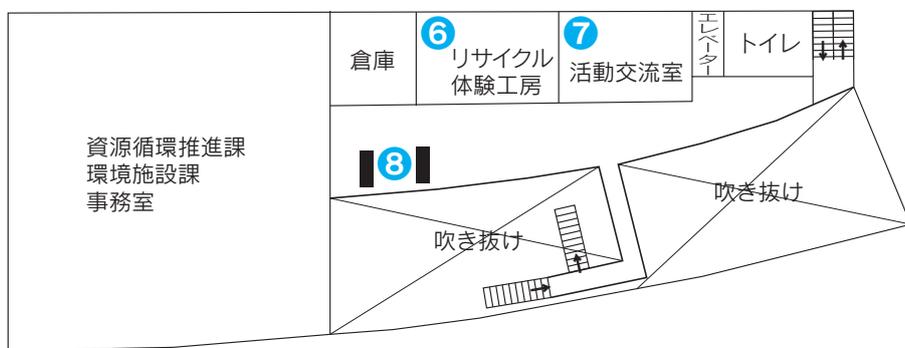
⑥リサイクル体験工房

リサイクルの大切さを体験しながら学べる講座を開催。不用となった牛乳パックなどを利用した紙すき体験や、廃食用油を使用した石けん作り、廃材を利用した工作教室などを開催する予定です。

⑦活動交流室

ごみや環境問題について関心を持っているグループや団体の、話し合い・学習・実習の場として利用できる部屋です。

2階



⑧情報・資料コーナー

環境に関する図書などを、閲覧したり、借りたりできます。インターネットで、環境に関する情報を調べることもできます。



自然な曲線を描く、吹き抜けに面した廊下

3階

⑨研修室

収容人数150人。資源化センター見学時の説明や、かわごえ環境推進員協議会、集団回収の説明会などを開催する予定です。

